

1 回生 29 名 大きく巣立つ

平成 25 年 3 月 9 日学校法人志村学園茨城北西看護専門学校の第 1 回卒業証書授与式が行われた。平成 22 年 4 月、地域に貢献できる看護師の養成を目的に開学された専門学校の門をくぐった学生は鈴木邦彦学校長より一人ひとり卒業証書を授与された。卒業生 29 名は茨城県内の医療施設への就職が決まっている。鈴木学校長は、「現在、茨城県は医師不足・看護師不足が続いている。特に、県北地域はこの傾向が強く、皆さんに社会も大きな期待を寄せている。人の命を預かる一人として一日も早く地域に貢献できる人になって下さい」と励ました。

また、卒業生を代表して仲田祥貴さんは「患者様は、自分の生命が危ぶまれる中でも、学生の私達に優しい言葉や感謝の気持ちを下さいました。病める時であっても、人格を維持し、人を思いやる心を持ち続ける人間の素晴らしさを患者様が教えて下さいました」と答辞で述べた。3 年間の学びを地域の人々の健康のために役立てていただきたい。

4 月 8 日には第 4 回の入学式があり、新たに 40 名の学生を迎える。

**同窓会発足！！**

第 1 回生が卒業するにあたり、卒業生相互の親睦及び会員の資質の向上を図ることをねらいとし卒業前に同窓会立ち上げをしました。このたび第 1 回の同窓会の発足が 3 月 4 日に行われ、同日同窓会総会のもと会長等の役員が選出された。役員は志村大宮病院に就職した人たちが中心に買って出でくれ、全員一致にて承認された。

会長 飯村誠一
副会長 弓田知香
会計監事 森伊佐武 坏健太
監事 仲田祥貴 富永真悟
書記 河野あずさ 菅谷佳央理
会計 鈴木麻由 大内美咲

入会金は永年会費とし、卒業時に 5 千円を納入することになっている。今後の会の発展を期待したい。

**国家試験合格率 89.7%！！
全国平均(88.8%)を上回る！！**

看護学生が避けては通れない最後の関門看護師国家試験。膨大な量の知識を学び、難しい技術を習得し睡眠不足とたたかいつながりながら実習をやり遂げ、広く深い看護の心を育ててきたとしても一発勝負の試験を突破することができない。学生たちは、3 年生の 11 月の統合実習終了後が本格的に国試対策に取り組んだ。寸暇を惜しみ集中した結果が 89.7%という合格率につながった。しかしながら、「全員合格」を目指して頑張ってきたので 100%を達成できなかったことは非常に残念である。今回不合格の学生は准看護師の資格を取得しているのでもそれぞれの医療施設で働きながら次年度の合格を目指すことになる。今回の国試の発表を受け、卒業生の中には次のように言う学生もいた。「入学時からの学習の積み重ねが国試合格の近道であることがよく分かった。入学時から先生方にそう言われていたが、国試の時期になり骨身にしみて分かった。」日頃からの学習を大切に、今後も「全員合格」をめざし教職員、学生が一丸となり努力を重ねていって欲しい。

オープンキャンパス 5 月より開催

25 年度入学生確保は、水戸市内に新たに看護学校が開設されたことも影響し苦戦をしいられた。今年度の募集活動は例年より早く 5 月より開始となる。例年は高校 3 年生が進路を考える頃の 7 月より開始していたが、次の日程で行われることになった。また、看護学校ではどのような授業が行われているのかも知っていただきたく、公開授業も計画している。

オープンキャンパス開催日程

5/25 ,6/29 ,8/1 ,8/27 ,9/28 ,10/27 ,12/14

後援会よりお知らせ

後援会は「学校法人志村学園が運営基盤の安定強化を図り、教育内容の高度化と教育環境並びに教育条件の整備・拡充を促進することによって、茨城北西看護専門学校の卒業生が地域医療への貢献を果たすよう援助することを目的とする」という趣旨のもと昨年 4 月に発足しました。これまでの会員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今年度もご協力の程よろしく願いいたします。昨年皆様からいただいた会費は約 38 万円になります。今後学生の学習環境を整え、学生生活をより豊かにするために次のことに使わせていただきたいと思います。

例) 講演会活動、音楽コンサート、学校祭の補助、
国試対策の補助など

ハルデン：かつてドイツに「ハルデン」という名の村があった。ドイツ語では丘を意味するが、この村は何度も他国からの攻撃を受けたが決して落ちることはなかったという。茨城北西看護専門学校も丘の上に建つ学校であり、決して負けることなく、落ちることなく、国家試験に全員合格できる、という発展の意味を込めこの名称とした。